

# 結 果 報 告

|       |                         |          |              |      |   |
|-------|-------------------------|----------|--------------|------|---|
| 大会名   | 平成28年度第68回日本ハンドボール選手権大会 |          |              |      |   |
| 競技日   | 12月21日(水)               | 試合番号     | サ            | 回戦   | 2 |
| 種別    | 男子・女子                   | 会場       | 伊勢丹八王子・駒沢体育館 |      |   |
| Aチーム  |                         |          | Bチーム         |      |   |
| HC和歌山 |                         |          | 氷見クラブ        |      |   |
| 得点合計  | 小計                      |          | 小計           | 得点合計 |   |
| 30    | 17                      | 前半       | 10           | 22   |   |
|       | 13                      | 後半       | 12           |      |   |
|       |                         | 第1延長(前半) |              |      |   |
|       |                         | 第1延長(後半) |              |      |   |
|       |                         | 第2延長(前半) |              |      |   |
|       |                         | 第2延長(後半) |              |      |   |
|       |                         | 7mTC     |              |      |   |

## 【 戦 評 】

記載者氏名

井上 裕太

一回戦を順当に勝ち上がり、社会人チーム同士の対戦となったこの1戦、氷見クラブからのスローオフでスタート。立ち上がり氷見クラブは海道、HC和歌山は古家と元実業団選手を中心に、両チーム点を取り合い開始5分で3対3の同点とする。流れがどちらにも傾かない中、前田の好セーブから本田、宮元、水井のシュートが決まり前半18分で3点差とHC和歌山が徐々にリードを広げる。残り5分氷見クラブは退場者を出し、HC和歌山に流れが行くかと思われたが、杉林の好セーブなどで2分間守りきった。その後、宮元、松井などの連続速攻が決まり、前半終わってみれば7点差で前半を折り返す。後半開始早々氷見クラブはペナルティーを取るがこれをHC和歌山、前田が好セーブした。前田は前半から続き3連続ペナルティーセーブを見せる。その後はHC和歌山はエース宮元のロングシュート、氷見クラブは海道からポスト山崎へのホットラインパスで得点を重ねていく。後半に入り前半の7点差が縮まらなかったが19分過ぎ氷見クラブが4点差まで追い上げを見せる。終盤、HC和歌山は保坂の連続得点で点差を広げ試合終了のブザーが鳴った。この結果によりHC和歌山は明日、琉球コラソンと試合を行う権利を得る事となった。